

街の賑わい交流委員会 事業計画

委員長 坂上 一世

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントや伝統行事が中止となり人との交流が著しく減ってしまい誰もが不安や寂しさを抱える年となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止策を取り入れ様々なツールを利用してコミュニケーションをとっていましたが、やはり人と人が直接触れ合い学びあって共に笑顔になれる環境を作り出し、一人ひとりが心をつなげ明るくより良い人間関係の構築をすることが必要です。

まずは、新型コロナウイルス感染拡大防止策を取り入れメンバー内で年代や委員会等の垣根を越え協働できる事業を行いメンバー相互の団結力を強くします。その上で、市民の皆様と交流出来る場として既につくばの地で22年続く伝統事業である「The祭inTSUKUBA」ねぶたパレードを本年も開催します。諸先輩方、各関係諸団体の皆様にご指導を頂き我々はその伝統を受け継ぎ、情報を共有しアイデアを多方面から取り入れることにより新たな発見をすることができます。更に、活気に満ち溢れた魅力的な祭へと進化すべく街の賑わいを願っている多くの市民の皆様が一体となった新しい基盤を構築します。今年度から実際にメンバーが準備をしている映像を随時SNS上で更新し制作段階を共有することで本事業をより身近に感じてもらうことができ、市民参加型事業の強化につながります。そして、これまでの外部資金調達であった助成金、協賛金以外にクラウドファンディングによる資金調達を試みます。これにより「The祭inTSUKUBA」ねぶたパレードをより多くの皆様に知って頂き、事業参加率の向上へとつなげます。

市民の皆様の笑顔を取り戻すと共に人と人がつながる意味を再認識でき、より良い人間関係の構築が実現できます。メンバーと市民の皆様が意識、行動を共にすることで街の賑わいへのきっかけが生まれ原動力となり笑顔溢れる豊かなつくばの未来につながります。

職務分掌

1. 会員交流事業の開催
2. クラウドファンディング等の利用による外部資金の調達
3. 第23回「The祭inTSUKUBA」ねぶたパレードの開催